

平成26年12月14日執行

神奈川県第8区選挙区(横浜市緑区、青葉区)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



維新の党
JAPAN INNOVATION PARTY

将来の原発ゼロ! 景気最優先!

増税
凍結



え
だ
江田けんじ
維新の党代表

江田 憲司
(えだけんじ)
1956年4月28日生
●核ミサイル・領域侵犯等から日本を守り、「集団の自衛権」
には歴止めをかける
●東大法卒。旧防衛省ハーバード大研修員、首相秘書官。
退官後、経済産業省企画調整室にて衆議院議員(4期)
趣味: 著書、家族、政治評論、財務のマイドコンピュート(著書の信託者)

5 国際情勢、安全保障環境の変化に応じ
日本防衛に万全!
「地方創生」も地域が決める!
中央集権体制を打破

4 「地方創生」も地域が決める!
電力自由化による市場メカニズムで
3 働き方の多様化を進め、
働く者の立場も守る!

2 原発は将来ゼロに!
消費税は真に社会保障年金支度の財源に!
1 増税の前にやるべきことがある!
この状況で増税はムリ

1 増税は景気回復・雇用確保を最優先!
この状況で景気回復・雇用確保を最優先!
2 信なくば立たず!議員や役人が身を切る
ムダ解消の努力を尽くせ!

1 増税は景気回復・雇用確保を最優先!
この状況で景気回復・雇用確保を最優先!
2 信なくば立たず!議員や役人が身を切る
ムダ解消の努力を尽くせ!

1 増税は景気回復・雇用確保を最優先!
この状況で景気回復・雇用確保を最優先!
2 信なくば立たず!議員や役人が身を切る
ムダ解消の努力を尽くせ!

消費増税10%凍結

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を



日本共産党
わかばやし
靖久
若林やすひさ

8区国政対策委員長
1985年生まれ。29歳。産業技術短大卒、工作機械メーカーでエンジニア。国内と世界を歩く。東日本大震災時に宮城県石巻市のボランティアセンターの運営に携わる。党員。横浜北東地区常任委員。趣味はフルートとバイクと語学。

消費税10%先送りでなくきっぱり中止を

比例代表
日本共産党
くだい

再稼働ストップ
「原発ゼロの日本へ」
福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

アベノミクスで
格差拡大、景気悪化
による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

暮らし第一で
経済を立て直す
3つの提案
①人間らしく働ける雇用のルールをつくる
②社会保障切り捨てから充実へ
③TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

①大企業の内部留保285兆円の一部を立ち直す「二つの改革」を提案しています。
②富裕層や大企業への応分の負担を求める税制改革。
③消費税に2つの改革を立てるため、社会保険の財源確保と財政再建をはかります。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

ふくだ 峰之

私たちも応援しています!
内閣官房長官 菅 義偉
経済再生担当大臣 甘利 明
自民党行革推進本部長 河野太郎
支援する会会長 池井 優

■プロフィール
昭和39年4月8日生 B型 50歳
立教大学社会学部卒
衆議院議員秘書、横浜市会議員(2期)
衆議院議員(2期)
■衆議院の役職(2期目)
●法務委員会理事
●国土交通委員会理事他
■自民党的役職(現在)
●広報本部ネットメディア局次長
●IT戦略特命委員会事務局長
●資源エネルギー戦略調査会水素社会実現小委員会事務局長他



貫く! アベノミクス

1 この2年間で世の中は好転しました。
アベノミクス、止めてもいいのですか?

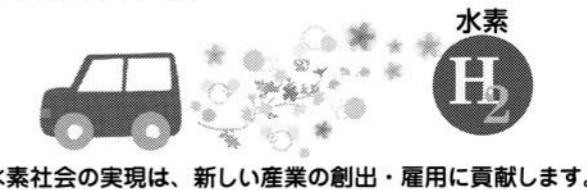
2 信を問うテーマは、
「アベノミクス(自民党的経済政策)」

3 水素は、原発に代わるエネルギー。
アベノミクス政策の重要な一つです。

2年前、日本経済は円高とデフレにより、給料は上がらず逆に悩み、不安を抱えたサラリーマンが多くいたのではないかでしょうか。そこへアベノミクスを掲げた安倍晋三総裁が登場。新たな施策を実行に移し、過度な円高は解消され、株価は上がりにになり、失業率も改善。大企業を中心に、給料やボーナスも上がりはじめました。中小企業や個人商店が実感できる好影響も、すぐそこまでできています。安倍内閣の経済政策=アベノミクスを、今やめてしまったら、全ては水の泡になります。

アベノミクスは、単に景気を良くし企業業績をアップすることだけが目的ではありません。社会が成熟した今、高度成長期のように毎年GDPが大幅に伸びるというのは難しい相談です。しかし、経済が安定成長し、少しずつでも着実に賃金が上がるようになれば、誰もが安心して家庭生活が送れ、子育てができます。アベノミクスをひとことで言うならば、「一生懸命働けば、毎年、給料が増えていく社会の実現」なのです。私たちは、「ひと・まち・しごと創生法」を先の国会で成立させ、地方や中小企業にもアベノミクスの効果が及ぶようなる一手を打ちました。本法律でメリハリのある予算編成で、景気回復の実感を全国民に楽しむ感じていただけるよう全力で取り組んでまいります。

もう原発には依存できません。次のエネルギー政策をどうするのか。今の子ども達世代に負担をかけぬよう、緊急に解決せねばなりません。私は次の新しいエネルギーに、水素を選択しました。アベノミクス第三の矢・成長戦略の目玉の一つでもあります。自民党的実務責任者としてこの2年間、全力を注いできました。エネルギー問題解決の道筋が私には、はっきりと見えています。今を生きる世代が、限りある化石燃料を使いつぶついいのでしょうか。私は次世代のためにも、放射性廃棄物もゼロ。CO2もゼロ。クリーンな水素エネルギーを推進していきます。水素社会の実現を、ここ横浜市から始めたい。そのために、アベノミクスを貫きます。



水素社会の実現は、新しい産業の創出・雇用に貢献します。



自由民主党
みゆき
50歳
ふくだ峰之